

令和元年6月25日
文教福祉常任委員会資料
健康長寿部健康生きがい課

平成30年度宇治市小倉デイホームの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙
のとおり報告いたします。

平成 30 年度 事業報告書

令和元年 5 月 28 日

施設名	宇治市小倉デイホーム
団体名	社会福祉法人 宇治明星園
代表者名	理事長 辻村 禎彰

(1) 業務実施状況報告 (30年度)

【管理運営の方針】 「地域に開かれた、地域に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」(宇治明星園設立理念)を宇治市小倉デイホームの運営方針とする。 結果 平成 30 年度の 1 年間でデイルーム 5,243 人(前年対比:約 2.5%減)、家族介護者教室 3,091 人(前年対比:約 4.1%減)、ボランティアルーム 1,054 人(前年対比 18.0%増)、の利用(延べ人数)があった。また、継続して小倉小学校青少年健全育成協議会の常設活動で子ども茶道教室、地域住民による写経サークル、地域貢献事業(委託事業含む)の介護予防教室(小倉うたごえサロン、小倉げんき塾、みんなの認知症予防教室、きらめき創作教室)、そしてクラブ活動(陶芸、書道、健康麻雀クラブ、ちぎり絵教室)を継続して行い、新たに 10 月より絵手紙教室も行い、地域住民の健康増進の向上に繋げた。
【施設の平等利用の考え方と実施した対策】 宇治市在住の 60 歳以上の方であればどなたでも平等に利用していただき、地域に開かれた施設として運営する。また、それ以外の介護者教室、ボランティアルームなども年齢に関わらず、地域のサークル活動やサロン、民生児童委員会、学区福祉委員会、宇治市立小倉小学校や双葉園保育所などにも幅広く開放する。その他、障害者福祉施設の利用者の就労の場(地域交流の場)としても活用する。 実施した対策 高齢者福祉施設として、宇治市広報の掲示や地域のお知らせを配布するなど情報発信を行い、また地域のイベントや施設主催の行事(介護予防教室・クラブ活動やよくする会の開催、デイホーム委員会主催)なども地域や関係団体に幅広く広報して利用しやすい環境づくりに努めた。

【施設管理状況】1. 利用拡大の取組

【平成30年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては、利用延べ人数は（小倉げんき塾：29年度1,376人⇒30年度1,485人、みんなの認知症予防ゲーム：29年度277人⇒30年度190人、小倉うたごえサロン：29年度642人⇒30年度560人、きらめき創作教室：29年度50人⇒30年度37人）となった。クラブ活動（陶芸、書道、健康麻雀クラブ、ちぎり絵教室）を継続して行い新たに絵手紙クラブも開催し、延べ787人（29年度592人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「パソコン教室」も継続した利用に繋がっており安定している。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」、納涼交流会、クリスマス茶話会）もあり利用増に繋がった。特にデイホーム委員会ではデイホーム利用者に会議に出席してもらいデイホーム利用者と職員の意見交換を行うことでより良い環境作りに努めた。

【平成29年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては利用延べ人数は（小倉げんき塾：28年度1,275人⇒29年度1,376人、みんなの認知症予防ゲーム：28年度330人⇒29年度277人、小倉うたごえサロン：28年度732人⇒29年度642人、きらめき創作教室：28年度73人⇒29年度50人）となった。クラブ活動（陶芸、書道、健康麻雀クラブ、ちぎり絵教室）を継続して行い、延べ592人（28年度338人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「パソコン教室」も継続した利用に繋がっており安定している。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」、熱中症予防講座、認知症講座）もあり利用増に繋がった。特にデイホーム委員会ではデイホーム利用者に会議に出席してもらいデイホーム利用者と職員の意見交換を行うことでより良い環境作りに努めた。

【平成28年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業を開催。介護予防教室の利用延べ人数（小倉うたごえサロン：27年度707人⇒28年度732人、きらめき創作教室：27年度86人⇒28年度73人）が増加した。クラブ活動（陶芸、書道、絵画（平成28年10月終了）、健康麻雀クラブ（平成28年6月より開始）、ちぎり絵教室（平成29年3月より開始））を継続して行い、延べ277人が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「パソコン教室」も継続した利用に繋がっており安定している。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画、熱中症予防、認知症対策講座、新年会、バレンタイン企画）や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会主催のお茶会、認知症対策講座もあり利用増に繋がった。特にデイホーム委員会ではデイホーム利用者に会議に出席してもらいデイホーム利用者と職員の意見交換を行うことでより良い環境作りに努めた。

【平成27年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては全体的に利用延べ人数（小倉げんき塾：26年度1,029人⇒27年度1,188人、認知症予防教室スリーA：26年度271人⇒27年度343人、小倉うたごえサロン：26年度642人⇒27年度707人、きらめき創作教室：平成26年度123人⇒27年度86人）は増加した。また、小倉学区福祉委員の自主活動である「いきいき教室」や地域の「パソコン教室」も継続した利用に繋がっており安定している。その他、デイホーム委員会の行事（熱中症予防、新年会、バレンタイン企画）や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会主催の介護教室や防災学習会の開催もあり利用増に繋がった。

【施設管理状況】2. 広報実施

広報結果

各自治体、教育機関、福祉施設からの見学を随時受付、日本初の小学校の高齢者福祉施設の転用例を発信した。あわせて、宇治市を通じて自治体からの視察や施設見学にも対応した。また、社会福祉法人宇治明星園の広報活動ともリンクし、宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターと連携しながら、地域の福祉拠点並びに福祉相談窓口としての情報発信も行った。その他、小倉小学校、小倉双葉園保育所だけでなく施設の機関紙やパンフレット（イベントや行事企画等）を地域や関係団体に配布して広報を行った。

【施設管理状況】3. 職員配置

センター長 1名（宇治市小倉デイサービス管理者兼任）

受付及び管理職員 15名（宇治市小倉介護サービスセンター介護支援専門員兼任、北宇治地域包括支援センター職員兼任）

浴室清掃・営繕 2名（宇治市小倉デイサービスセンター運転手兼任）

その他、すべての小倉明星園スタッフでデイホーム利用者への対応を行っている。

【施設管理状況】4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携

連携結果

小倉小学校の子ども茶道教室（2回/月）、地域住民による写経サークル（毎週金曜日）、パソコン教室（毎週土曜日）、地域住民の介護予防教室（小倉うたごえサロン（第1木曜日）、小倉げんき塾（第2木曜日）、みんなの認知症予防教室（第3木曜日）きらめき創作教室（第4木曜日）、クラブ活動（陶芸クラブ（第1火曜日）、書道クラブ（第2火曜日）、ちぎり絵クラブ（第3火曜日）、健康麻雀クラブ（第3、4水曜日）絵手紙クラブ（第4火曜日）などに施設を開放。その他、地域のボランティア団体や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会にも地域交流の場として施設を開放した。また、地域住民主催の作品展示会を今年度も実施した。

【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策

対策状況

トラブル対応として、デイホーム委員会が中心となりデイホーム利用者による館内の利用時間の遵守及びマナーについて検討を図り、館内ルールを遵守していただくよう声掛け（説明）や館内掲示を行った。防犯については、業者委託による機械警備（夜間）と職員による館内防犯点検（目視による巡視）を行った。また、小倉小学校の敷地内であることから日中はスクールサポーター（配置時）が常時見守りを実施している。防災対策については、年3回館内利用者・職員を含めた避難訓練を実施して防災意識を高めた。

【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策

把握状況及び実施策

日常的に宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターの職員が利用者の要望等の対応にあたるとともに、デイホーム委員会を中心に実態の把握を行った。また、これまでと同様に個別の相談（介護に関する悩み、利用者同士のトラブル）にも適切に対応した。その他、利用者の要望やサービス実態把握のためデイホーム利用者アンケートを実施（毎年）して満足度を調査した。調査結果として、大変満足している11人、満足している7人、ふつう4人、やや不満足である0人、非常に不満足である0人の回答があった（アンケートは22人から回収）。

アンケートからは、職員の関わりや対応に大変満足している・満足しているという回答やデイホームの企画を楽しみにしているという声が多く寄せられた。

【サービス向上取組内容】

【平成30年の取組結果】

デイホーム委員会に利用者が参画できるよう昨年度に続き委員会会議に参加していただいた。また、男性利用者が参加してもらいやすいイベントを昨年度に続き企画（春の健康チェック、納涼交流会・デイホームのマナー全般の見直し、クリスマス茶話会・パンケーキ作り）。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、昨年度の延べ利用者数を超える参加があった。また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀クラブ・ちぎり絵、絵手紙）開催し地域住民のニーズに応えるべく取り組んだ。

【平成29年の取組結果】

デイホーム委員会に利用者が参画できるよう昨年度に続き委員会会議に参加していただいた。また、男性利用者が参加してもらいやすいイベントを昨年度に続き企画（春の健康チェック、熱中症対策講座、認知症対策講座・「花子さん笑って」ビデオ上映、冬のほっこり企画「おぜんざい」・寒さ対策）を行った。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、昨年度の延べ利用者数を超える参加があった。また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀クラブ・ちぎり絵）を開催し地域住民のニーズに応えるべく取り組んだ。

【平成28年度の取組結果】

デイホーム委員会に利用者が参画できるよう昨年度に続き委員会会議に参加していただいた。また、男性利用者が参加してもらいやすいイベントを昨年度に続き企画（春の健康チェック、熱中症対策講座、認知症対策講座、新年会、バレンタイン行事）した。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、昨年度の延べ利用者数を超える参加があった。また、既存のクラブ活動（陶芸・書道・絵画）に加えて新しいクラブ活動を6月より健康麻雀クラブ、10月に終了した絵画に代わり3月よりちぎり絵を開催し地域住民のニーズに応えるべく取り組んだ。

【平成 27 年度の取組結果】

デイホーム委員会に利用者が参画できるよう環境整備を図った。また、男性利用者が参加してもらいやすいイベントを企画（熱中症対策講座、新年会、バレンタイン行事）した。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、昨年度の延べ利用者数を超える参加があった。また、新しいクラブ活動（陶芸、書道、絵画）を7月より開催し、地域住民のニーズに応えるべく取り組んだ。

【管理経費縮減の具体策と結果】**【平成 30 年度の取組結果】**

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお願いの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

平成 27 年度から平成 30 年度の経費（光熱水費）実績

		平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度	平成 30 年 度	前年度比 (%)
電気	千円	296	295	334	335	100.3
ガス	千円	938	794	893	941	105.4
水道	千円	847	933	973	964	99.1
合計	千円	2,081	2,022	2,200	2,240	101.8

【平成 29 年度の取組結果】

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお願いの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

【平成 28 年度の取組結果】

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお願いの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努める）。浴室においても蛇口の締め忘れ（少量でも）がないようデイホーム関係職員が常時節水に努めた。

【平成 27 年度の取組結果】

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお願いの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努める）。浴室においても蛇口の締め忘れ（少量でも）がないようデイホーム関係職員が常時節水に努めた。

<p>【管理能力】職員研修計画と実施状況</p> <p>職員研修計画 併設の宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターにおける介護・福祉関係及び施設管理に関する研修に参加する。</p> <p>実施状況 人権啓発研修や認知症研修、及び感染症研修（感染症研修参加者は研修後、実際に館内にて模擬訓練を職員対象に行う）など外部研修に参加して職員の管理能力を高めた。その他、年3回の避難訓練の実施により施設管理における安全性を高めた。</p>
<p>【個人情報保護措置と実施状況】</p> <p>保護措置 個人情報保護の観点から、利用ごとに利用許可証の提示は求めず、利用人数の把握のみ努める。初回の利用許可証発行時のみ基本情報を記入してもらい適切に管理を行う。</p> <p>実施状況 個人情報保護の観点から、利用ごとに利用証の提示は求めず、利用人数の把握のみに努めた。初回の利用証発行時のみ氏名、住所、年齢等の基本情報を「宇治市デイホーム利用証交付申請書」に記入してもらい、施錠可能なデスクに保管、管理した。また、当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じた。</p>
<p>【情報公開対応と実施状況】</p> <p>対応 当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じる。</p> <p>実施状況 平成30年度における情報公開実施事例はなかった。</p>
<p>【その他】 特になし</p>

(2) 施設利用状況報告(30年度)

【施設利用状況】1. 入館者数

平成27年度から平成30年度の入館者数(人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比 (%)
テイルーム利用者	4,691	4,917	5,376	5,243	97.5
浴室利用者数	1,486	1,580	1,542	1,505	97.6
ボランティアルーム	658	880	893	1,054	118.0
家族介護者教室	3,133	3,381	3,224	3,091	95.9
合計	9,968	10,758	11,035	10,893	98.7

【施設利用状況】2. 貸館状況

平成27年度から平成30年度の貸館状況

区分	件数 人数	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	前年度比 (%)
ボランティアルーム	件数	218	171	168	188	112.0
	人数	658	880	893	1,054	118.0
家族介護者 教室	件数	89	86	86	92	107.0
	人数	3,133	3,381	3,224	3,091	95.9
合計	件数	307	257	254	280	110.2
	人数	3,791	4,261	4,177	4,145	99.2

(3) 管理経費収支状況報告(平成30年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市小倉デイホーム			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	3,929	4,201	指定管理料	
	その他	0	0		
収入合計(A)		3,929	4,201		
支出	人件費	1,355	1,370	管理人賃金・法定福利費	
	事務費	63	51	消耗品費	
	管理費	2,511	2,780	光熱水費 2,241 委託料 457 修繕料 82	
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		3,929	4,201		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) -1 事業実施状況報告(30年度)

※事業=公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
		

